

201034069A

厚生労働科学研究費補助金

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

平成22年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 三浦 宜彦

平成23（2011）年 6月

目 次

I. 総括研究報告

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究…………… 1

三浦宜彦

(資料) インフルエンザワクチン接種状況調査の調査票一式…………… 5

II. 分担研究報告

1. 医療機関調査の解析 I – ワクチン接種の現況 –……………23

渡辺由美

2. 医療機関調査の解析 II – 需要予測 –……………39

延原弘章

3. 2011年度インフルエンザ予防接種需要予測 ……………53

大日康史

総括研究報告書

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

研究代表者 三浦 宜彦 埼玉県立大学 教授

研究要旨 インフルエンザワクチン接種の実態を把握することを目的として、都道府県を層として無作為に抽出した 3,376 の医療機関等を対象に、平成 22 年度のインフルエンザワクチン接種状況調査を実施した。その結果、ワクチン接種率は、1 歳未満 11.0%、1 歳以上 6 歳未満 70.0%、6 歳以上 13 歳未満 57.5%、13 歳以上 65 歳未満 28.4%、65 歳以上 58.7%と世代間格差が認められ、全体では 38.8%と推定された。さらに、この調査結果から、平成 23 年度のワクチン需要数は 2,526 万本から 2,553 万本と推計された。ただし、接種率の長期的な変化の動向を考慮すると、2,653 万本程度にまで増加する可能性があり、小児に対する接種用量の変更が行われた場合には、さらに 420 万本程度増加する可能性がある。住民の接種意向調査からは、2,789 万程度の需要が推測された。

分担研究者

渡辺由美 高崎健康福祉大学 教授
延原弘章 高崎健康福祉大学 教授
大日康史 国立感染症研究所 主任研究官

を的確に把握することが求められている。本研究は、この要請にもとづき、インフルエンザワクチンの需要量の推計方法を確立することを目的とした。

A. 研究目的

インフルエンザの流行は年次変動が大きい上に、平成 6 年度の予防接種法の改正を機にインフルエンザワクチンの接種が任意接種となったことにより、近年、インフルエンザワクチンの需要の予測は困難を極めている。さらに、平成 13 年度には予防接種法改正による高齢者（65 歳以上）へのインフルエンザワクチンの勧奨接種が実施され、インフルエンザワクチンの需要

B. 研究方法

下記に示す 2 種の調査を実施して、65 歳未満の任意接種需要量および平成 13 年度以降の 65 歳以上高齢者の勧奨接種需要量を推計する方法を検討した。

1. 医療機関等を対象とした接種状況調査

医療機関等に対し、シーズン前（平成 22 年 9 月末）に協力を依頼し、シーズン終了後（平成

23年3月)に調査票の回収を行った。

①調査対象施設数は、(社)日本医薬品卸業連合会加盟の医薬品卸売業者が平成21年度に1本以上を供給した全国83,965施設から、都道府県を層として抽出した3,376(抽出率4.02%)施設とした。

②調査項目は、ワクチン購入本数、年齢(生物学的製剤基準に定められている年齢別)・接種方法別接種人数とした。

2. 住民を対象とした接種意向調査

高齢者、幼児・児童、成人の3グループを対象としてインフルエンザワクチンの接種意向調査を行った。

①調査は2011年4月上旬に全国(ただし東日本大震災の被災地域を除く)において実施し、4,012世帯から回答を得た。

②調査項目は、平成22年度におけるワクチン接種希望と実際の接種の有無(有りの場合は自己負担額)および平成23年度のワクチン接種意向とJoint Estimationのための設問とした。

(倫理面への配慮)

医療機関等に記入を依頼した接種状況リストには、被接種者の年齢区分、対象者区分(入院・外来の別、患者・施設入所者・医療従事者等の別)、接種方法、接種日の記入のみを求め、氏名をはじめとする個人を特定される情報の記入は求めなかった。また、インフルエンザワクチン接種意向調査においても、調査対象住民の氏名、住所等の匿名性が失われないようにした。

C. 研究結果

1. 医療機関等を対象とした接種状況調査

1)回収率を全国で見ると32.9%で、都道府県別には栃木県の20.8%から富山県の50.0%であった。また、母数に対する回収率は1.32%で、都道府県別には栃木県の0.83%から富山県の2.01%であった。

2)平成21年10月1日現在推計人口により全国の接種率を推計し、厚生労働省調べのワクチン使用本数と本調査の使用本数推計値との比により補正した結果、1歳未満の接種率は11.0%で、そのうち92.4%は2回接種となっていた。1歳以上6歳未満の接種率は70.0%で、そのうち93.6%が2回接種、6歳以上13歳未満の接種率は57.5%で、そのうち86.8%が2回接種となっていた。13歳未満ではいずれの世代においても2回接種の割合が9割前後であった。13歳以上65歳未満の接種率は28.4%で、そのうち2回接種の割合は1.1%、65歳以上の接種率は58.7%で、そのうち2回接種が1.0%となっており、1回接種が多くなっていた。接種率を全年齢で見ると38.8%と推定された。

3)各医療機関等から返送された回答のうち、インフルエンザワクチンの次年度予測接種数について都道府県別集計を行い、その集計結果を母数に対する回収率で除することにより算出し、回答施設の偏りの補正を行なった推計値に、「薬事法の用量通りの接種量」を適用した結果、平成23年度のワクチン需要数は2,526万本から2,553万本と推計された。

2. 住民を対象とした接種意向調査

1)4,012世帯から回答を得た。コンジョイント分析の対象となる個人数は7,976人であった。
2)平成22年度のインフルエンザワクチン接種率は高齢者60.5%、成人43.1%、幼児・児童

59.3%であった。

3) Joint Estimation により、幼児・児童は2回接種、成人および高齢者は1回接種と仮定して、平成23年度の需要予測を試みた。来シーズンでの費用設定は推測の域を出ないことを考慮して、高齢者と65才未満での自己負担額の分布に基づいて積分を行って算出すると、幼児・児童で698万本、成人で1,540万本、高齢者で551万本、合計2,789万本であった。

D. 考察

1. 厚生労働省の調べによると22年度のワクチン使用量は2,447万本とされているが、本研究の同年の使用本数の推計値は2,391万本で、2.3%程度過小に推計している可能性があったので、推計に当たってはその補正が必要と考えた。

2. すべての年齢区分において21年度よりも増加していたが、21年度に減少の大きかった幼児・児童においては、特に大きく増加していた。また高齢者については、新型インフルエンザ発生前の時点において、すでに接種率の増加に頭打ちの傾向が見られていたが、今回は比較的大きな増加を示した。

この現象は、インフルエンザが高齢者や子どもでは重症化しやすいことが周知されてきたこと、前年度は別に行われた新型インフルエンザのワクチンが、従来のインフルエンザワクチンに組み込まれたことの影響等によるものと考えた。

また、一般成人について増加が大きくなかったのは、従来のインフルエンザと比較してとりわけ高い致死率ではないことが判明し、同年度の接種シーズン中に毒性が強まるといった変

化もなかったこと等によるものと考えた。

3. 23年度のインフルエンザワクチンの需要は、2,526万本～2,553万本と見込まれたが、幼児・児童の接種率の増加幅が半分程度と仮定し、13～65歳の接種率が22年度と同様の28.4%から30.0%程度の接種率と仮定すると、最大100万本程度の増加が見込まれ、子どもへの接種用量の変更が行われた場合には、さらに420万本程度の増加が見込まれると考えた。

4. ただしこれらの予測は現在の状況に基づくものであり、今後、新型インフルエンザの毒性に変化が見られたり、そのようなことが起き得るということが一般国民に強く認識されるようになったり、あるいはさらに新しい型のインフルエンザが流行したりした場合には、より一層の需要増加がみられる可能性もある。

一方、新型インフルエンザによるわが国における直接的な被害は、結果として比較的軽微であったことから、一般国民の関心が薄れ、ワクチン需要が思ったほど伸びないことも考えられる。

E. 結論

1. 世代別接種率は1歳未満が11.0%、1～6歳70.0%、6～13歳が57.5%、13～65歳が28.4%、65歳以上が58.7%となっており、前年度と比較してどの世代においても上昇していたが、特に1～6歳と6～13歳で大きく上昇していた。

2. 医療機関等を対象とした接種状況調査によって、23年度のインフルエンザワクチンの需要は、2,526万本～2,553万本と見込まれたが、これまでの長期にわたる接種率の推移を考慮すると、100万本程度の増加が見込まれ、小児への

接種用量の変更が行われた場合には、さらに420万本程度の増加が見込まれる。

3. 住民を対象とした接種意向調査から平成23年度のワクチン需要数は約2,789万本と推計された。

4. 今後のインフルエンザの毒性の変化や流行状況、またこれらに関するマスコミ情報の状況によっては、さらなる需要増あるいは需要の減少がみられる可能性があり、一般国民に対する適切な情報提供が望まれる。

F. 健康危機情報

なし

G. 研究発表

1. 発表論文

投稿準備中

2. 学会発表

1) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 9-第1報 09/10年シーズン接種状況- 第69回日本公衆衛生学会総会, 2010.10 (日本公衛誌 57(10)特別付録: 196, 2010)

2) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 9-第2報 10/11年シーズン需要予測- 第69回日本公衆衛生学会総会, 2010.10 (日本公衛誌 57(10) 特別付録: 196, 2010)

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

資料

インフルエンザワクチン接種状況調査の調査票一式

平成22年9月

御担当者各位

厚生労働省医薬食品局血液対策課長

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について（協力依頼）

厚生労働省では、毎年度、インフルエンザワクチン（以下「ワクチン」という。）について、その需要をよりの確に把握し、安定供給を行うために、「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、需要予測のための調査・検討を行っています。また、当該検討会における調査・検討に資するよう、インフルエンザワクチン需要調査研究班において、需要予測のための調査を実施しております。

つきましては、次シーズン（平成23年度）の需要予測を行うためのデータを作成するためには、今年度のシーズン中に調査を実施する必要があることから、今シーズンも昨シーズンと同様に、医療機関、老人保健施設、老人福祉施設及び児童福祉施設等のワクチン接種施設に調査票を配布し、シーズン終了後に回収したうえで、その集計結果をもとに需要予測を行うことといたしておりますので、貴施設におかれましては、本調査の趣旨を御理解いただき、何卒御協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、都道府県等の自治体や地域医師会等より、シーズン中にワクチンに関する別の調査を依頼される場合もあるかと存じますが、それらは主に、シーズン中における在庫状況を調査するためのものであり、本調査とは趣旨が異なりますので、御承知おき願います。

平成22年9月

御担当者各位

インフルエンザワクチン需要調査研究班
研究代表者 三浦 宜彦

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について(依頼)

インフルエンザワクチンは、ご承知のとおり、平成6年の予防接種法の改正でインフルエンザの予防接種が任意接種となったのを契機に、その製造量は激減いたしました。しかし、近年、インフルエンザの重症化防止として、ワクチンの効果が見直され、その需要は、特に高齢者を中心に急激に伸びております。そこで、厚生労働省では、「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、インフルエンザワクチンの安定供給に努めているところです。

今般、平成23年度のインフルエンザシーズンの需要予測に向けて、平成22年度のインフルエンザワクチンの使用状況を調査するために、シーズン開始時に調査票を配布し、シーズン終了後に回収・集計することを考えております。本調査の趣旨をご理解いただき、是非、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

調査にご協力いただけましたら、インフルエンザワクチン使用時に、同封いたしました調査票に必要事項をご記入いただき、シーズン終了後(貴施設でのインフルエンザ予防接種終了後から3月31日まで)に同調査票をご返送いただきますようお願い申し上げます。ご返送の際には、同封の受取人払い返送用封筒をご使用ください。

なお、調査結果につきましては、集計結果のみを公表することとし、個別データの公表は一切致しませんので、ご迷惑をおかけすることはありません。

<調査スケジュール>

9月	調査票の発送
10月～2月末日 (今シーズン全期間)	接種状況調査期間
3月末日	調査票の返送期限

インフルエンザワクチン需要調査

1. 目的

次シーズン(平成23年度)に向けてインフルエンザワクチンの需要を把握し、需要に見合う量のワクチンを出来る限り円滑に製造・供給する。

2. 調査方法

インフルエンザワクチンの接種時期前に無作為に抽出した医療機関, 老人保健施設, 老人福祉施設, 児童福祉施設, ならびにその他の施設に調査依頼を行う。協力施設等においてインフルエンザワクチン接種時に調査票に必要事項を記載してもらおう。シーズン終了後にそれらの調査票を回収し、集計する。

3. 調査の位置付け

厚生労働省医薬食品局に設置された「インフルエンザワクチン需要検討会」の検討結果をもとに、研究班により実施。

4. 照会先

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地

埼玉県立大学保健医療福祉学部 みうら よしひこ 三浦 宜彦

TEL&FAX : 048(973)4325

e-mail : kango-d@spu.ac.jp

インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストの記入の手引き

- ◆ この手引きを参照の上、ご記入くださいますようお願い申し上げます。
- ◆ ご記入の際、ご不明な点等がございましたら、下記までお尋ねください。
- ◆ インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストが不足した場合は、ご請求ください。

（お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。）

埼玉県立大学内 インフルエンザワクチン需要調査研究班 三浦宜彦

TEL 048-973-4325

FAX 048-973-4325

e-mail kango-d@spu.ac.jp

1. 集計方法
- ①調査票のインフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストに、直接集計結果を記入する場合
- ・接種者1人を1行に記入する方法
 - ・同日に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、1日分をまとめて1行に記入する方法
 - ・同期間に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、期間分をまとめて1行に記入する方法

☆いずれの方法で記入していただいても結構です。

②コンピュータ集計の場合

コンピュータ集計をされている施設では、調査票のインフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストに転記する手間を省くため、そのまま集計データをお送りいただいかまいません。

その場合、できれば入力例のように、必要調査項目には漏れないようご提出ください。

送っていただくデータは、Windowsで読める形式であれば、媒体はFD、MO、CD-R等、何でも結構です。

なお、e-mailでのご提出も受け付けておりますので、下記アドレスに送信してください。

e-mail : kango-d@spu.ac.jp

3～7ページの記入・入力例をご参照ください。

2. インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストの記入方法

1) 接種日(期間) 接種日(期間)をご記入ください。接種日は、日付順に並べる必要はございません。

- ・ 1日の場合 : 上段に平成×年×月×日と記入する。
- ・ 複数日の場合 : 上段に開始日を記入し、下段に終了日を記入する。

- 2) 年齢区分 該当する年齢区分の数字1つに○をつけてください。
- 3) 対象者区分 該当する対象者区分の数字1つに○をつけてください。
 ・「入院患者」とは貴施設が医療機関（病院・診療所）の場合、貴施設の入院患者をいいます。
 ・「施設入所者・通所者」とは、貴施設が老人保健施設、老人福祉施設等の福祉施設、その他の施設の場合、貴施設の入所者又は通所者をいいます。
 ・「医療従事者・施設従事者」とは、貴施設の医療機関及び施設の職員等の従事者をいいます。
 ・貴施設で購入したワクチンを外部施設で接種する場合、対象者区分は『5：1～4以外』となります。
- 4) 接種方法 該当する接種方式の数字1つに○をつけてください。
- 5) 人数 接種者1人を1行に記入する場合は1を、同じ条件の接種者を期間分まとめて記入する場合は、集計した人数をご記入ください。
- 6) 集計用欄 同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者を、まとめて記入される場合にご利用ください。
- 7) 頁（ページ）数 接種状況リスト右上の頁（ページ）記入欄には、記入した接種状況リストの全頁（ページ）数のうち、何頁（ページ）目にあたるかをご記入ください。
 ・記入例) 3/25頁中・・・全25ページ中、3ページ目

***インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストが不足する場合は、ご請求ください。**

***お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。**

【記入例1】接種者1人ずつ記入する場合

接種日(期間)	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成22年10月4日 平成22年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	
平成22年10月4日 平成22年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	
平成22年10月4日 平成22年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	

【記入例2】同じ条件の接種者をまとめて記入する場合

接種日(期間)	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成22年10月5日 平成22年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	5	正
平成22年10月1日 平成22年10月31日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	18	正正正下

【記入例3】混在した方法で記入する場合

接種日(期間)	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成22年11月1日 平成22年11月1日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	—
平成22年11月1日 平成22年11月1日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	4	下
平成22年11月2日 平成22年11月8日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	6	正
平成22年11月9日 平成22年11月9日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	9	正
平成22年11月9日 平成22年11月9日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	—

↑

同じ期日が続く場合は「、同上、等でも可

※注意 以下のようには記入しないようご注意ください!

接種日 (期間)	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成22年11月16日 平成 年 月 日	①: 1歳未満 ②: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 ③: 施設入所者・通所者 ④: 医療従事者・施設従事者 ⑤: 1～4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	5	正
平成22年11月24日 平成 年 月 日	①: 1歳未満 ②: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 ③: 施設入所者・通所者 ④: 医療従事者・施設従事者 ⑤: 1～4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	12	正正丁
平成22年12月1日 平成22年12月4日	①: 1歳未満 ②: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 ③: 施設入所者・通所者 ④: 医療従事者・施設従事者 ⑤: 1～4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	16	正正正



1つの区分の欄には2つ以上の○をつけない

【コンピュータ集計の場合の入力例】 Excelを使用した場合

※ 注意 3価ワクチンについてのみご記入ください。また、ファイル名には、必ず貴施設名をご使用ください。

Microsoft Excel - 貴施設名.xls

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

MS Pゴシック

G24

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	名称	埼玉県立大学						
2	所在地	埼玉県越谷市三野宮820						
3	TEL	048-973-4325						
4	FAX	048-973-4325						
5	E-mail	kango-d@sou.ac.jp						
6	担当者所属部署	保健医療福祉学部						
7	担当責任者	三浦宜彦						
8								
9								

施設名称ほか入質問・質問2人インフルエンザワクチン(3価ワクチン)接種状況リスト/ NUM

コマンド

Microsoft Excel - 貴施設名.xls

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

MS Pゴシック

K17

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	22年度(本シーズン)ワクチン										
2	1ml	0.5ml									
3	準備本数	使用本数	1歳未満	1歳-6歳	6歳-13歳	13歳-65歳	65歳以上	計			
4	120	114	60	55	0	3	62	65	130		

施設名称ほか入質問・質問2人インフルエンザワクチン(3価ワクチン)接種状況リスト/ NUM

コマンド

Microsoft Excel - 負施設名.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

11 MS Pゴシック B I U 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

J16

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1		インフルエンザワクチン(3価ワクチン)の在庫状況									
2	昨シーズン(21年12月末現在)	本シーズンの(22年12月末現在)									
3		2			1						

施設名称ほか\質問・質問2\インフルエンザワクチン(3価ワクチン)接種状況リスト/

NUM

コマンド

Microsoft Excel - 負施設名.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

11 MS Pゴシック B I U 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

J21

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No.	接種日(期間)	年齢区分	対象者区分	接種方法	人数					
2	1	10/25	4	1	1	1					
3	2	10/27	3	1	2	3					
4	3	10/27	4	1	1	5					
5	4	10/27	4	4	1	18					
6	5	11/1~12/29	3	1	1	45					
7	6	11/1~12/29	4	1	1	38					
8	7	11/1~12/29	5	1	1	26					
9	8	1月	3	1	1	15					
10	9	1月	4	1	1	12					
11											
12											

施設名称ほか\質問・質問2\インフルエンザワクチン(3価ワクチン)接種状況リスト/

NUM

コマンド

接種者を1人ずつ記入

同じ条件の接種者ごとに1日分まとめて集計

同じ条件の接種者ごとに一定期間まとめて集計

同じ条件の接種者ごとに一月分まとめて集計

平成 22 年度インフルエンザワクチン需要調査

インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況調査票

名 称	
所 在 地	都 道 府 市 区 村
電 話 番 号	
連 絡 先	F A X
	e-mail アドレス
担 当 責 任 者 所 属 部 署	
担 当 責 任 者 名	

- ・ 1 ページの「質問 1, 質問 2, 質問 3」は, 本調査票返送時 (シーズン終了後) にご記入ください。
- ・ 3 ページ以降の「インフルエンザワクチン (3 価ワクチン) 接種状況リスト」は, 別添の「インフルエンザワクチン (3 価ワクチン) 接種状況リストの記入の手引き」に従って, 本シーズン中, インフルエンザワクチンを接種する度にご記入ください。

本調査票返送時（本シーズン終了後）に、下記の質問1～質問3にご回答ください。

質問1. 22年度（本シーズン）のインフルエンザワクチン準備本数、及び実際に使用した本数（実績）をご記入ください。
 （※3価ワクチンについてのみご記入下さい。）

本シーズン実績	1mLバイアル	0.5mLハイフル・シリンジ
22年度（本シーズン）ワクチン準備本数 〔実際に購入したワクチン）＋（市町村より支給されたワクチン等）全て含みます。〕	本	本
22年度（本シーズン）ワクチン使用本数	本	本

質問2. 23年度（次シーズン）のインフルエンザワクチン接種見込み人数を下記の欄にご記入ください。
 （※3価ワクチンについてのみご記入下さい。）

1歳未満	人
1歳以上6歳未満	人
6歳以上13歳未満	人
13歳以上65歳未満	人
65歳以上	人
計	人

※次ページの質問3にも、ご回答下さい。

